

令和5年第8回

教育委員会（定例会）会議録

交野市教育委員会

1. 招 集 令和5年6月26日（月）午前9時30分
2. 開 会 令和5年6月26日（月）午前9時30分
3. 閉 会 令和5年6月26日（月）午前9時50分
4. 出席委員 北田 千秋教育長
村橋 彰教育長職務代理者
亥埜 誠治委員
伊丹 香寿美委員
長谷川 深雪委員
中山 尚美委員
般谷 恵秀委員
5. 事務局 大湾喜久男 教育次長兼教育総務室長・和久田寿樹 学校教育部長
長・内山美智子 学校教育部長・西岡浩二 生涯学習推進部長・
今堀祐児 学校教育部長次長・本多章博 生涯学習推進部長次長・堤
下栄基 教育総務室長代理・草野将明 まなび舎整備課長・大隅
昌之 指導課長・花田睦美 まなび未来課長・坂元智紀 学務保
健課長・出村公一 学校給食センター所長・北川哲哉 社会教育
課長・佐伯尚之 青少年育成課長・真鍋成史 社会教育課長（文
化財）・福田道正 図書館課長
6. 議事日程 日程 1 会議録署名委員の指名
日程 2 会議時間決定
日程 3 報告第 6号 教育長の報告について
7. 議事内容
堤下室長代理 皆さま、おはようございます。
それではただ今より第8回教育委員会定例会を開催いたした
いと思います。

教育長、本日の会議進行のほどよろしくお願いいたします。

北田教育長 はい、では開催の前に事務局から本日の出席状況の報告をお願いいたします。

堤下室長代理 本日の定例会の出席状況を報告いたします。本日の出席者は7名でございます。

同時に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により本会議は、成立いたしますことをご報告いたします。

北田教育長 報告はお聞きのとおりです。

次に、本日のこの会議でございますが、地教行法第14条第7項の規定により公開にしたいと思っておりますが、ご異議ございませんでしょうか。

各委員 異議なし。

北田教育長 ご異議がございませんので、公開にしたいと思っております。

本日、傍聴希望が2名ございますので、傍聴を許可したいと思います。事務局、準備をお願いいたします。

それではただ今から、令和5年 第8回教育委員会定例会を開催いたします。

まず、日程1「会議録 署名委員 指名」を議題といたします。

会議録 署名委員 の指名につきましては、交野市教育委員会会議規則第20条の規定に従い教育長が指名することとしてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし。

北田教育長 ご異議がありませんので、般谷委員を指名します。

次に、日程2「会議時間決定」を議題といたします。

会議時間決定につきましても、教育長一任とさせていただいてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし。

北田教育長 ご異議がありませんので、本日は協議会も含めただ今から 10 時 15 分までといたします。

では、報告第6号「教育長の報告について」、報告事項1の「令和5年第3回議会(定例会)一般質問及び答弁の要旨について」を議題といたします。

一般質問及び答弁の要旨につきましては、事前に資料をお配りしておりますので内容をご確認していただいているとは思いますが、そのため説明は省略させていただきます、質疑に移りますが議会の最終日が明後日ということで、もし質問をされてもなかなか内容によっては議会が終わっていないということでお答えしにくいものもあるかもしれませんが、資料を読んでいただいてご質問やご不明な点があればお願いいたします。

亥埜委員 質問ではないんですが、内容で PTA に関する質問と答弁がありました、私も含め般谷委員、中山委員は PTA 経験者です。

今こうして PTA の在り方についてというニュースを見ている、デメリットというか PTA はしんどいとか、大変とかそういう PTA はどうなのかという話は出てくるかと思えます。デメリットが先になるとマイナスのイメージになるので、やってみて楽しかったという人もいるし、経験してよかったという人もたくさんいます。こういったように、10 年以上前に一緒に活動した仲間も今までずっと付き合いや関係性もあったり、人間関係が広がったりとメリットもたくさんあるということを知っておいていただきたいと思えます。交野は特に地域の第二中学校区では親地の会、第一中学校区も般谷委員におかれては立ち上げのメンバー

の一人ですので、そういった PTA のサポート体制もありますので、PTA をするとき地域コミュニティがあれば PTA 活動をするのも助かることもあるので、そういったことも知っておいていただきたいというのが私の意見です。

北田教育長 PTA がつくる広報誌もやってよかった、楽しかったとか、やる前はしんどいと思っていたけどやったらつながりが広がってよかったという声もよく書いていただいています、どうしてもマスコミも含めて大変という意見が多いので、PTA の活動されている方もしんどいところもあるかと思いますが、発信も含めてサポートできるところはサポートしていきたいと思います。

伊丹委員 今の亥埜委員のお話の関係でこれも意見ですが、もちろんやってよかったし、やりたい人がやってくださった方がいいとは思いますが、逆にくじ引きをして無理やりやらされるというようなマイナスのイメージから入ることもあるし、そこは時代に合わせて省エネ化というか、やらない会議はやらないとか効率化して合理的にするとか、やりたい人が長い目で出来る、無理しなくて出来るというようなかたちで組織づくりは必要だと思います。それは結果的にはよかったねってなると思うので、そのためにも合理化も必要かと思っています。教育委員会としてこうしてくださいという話ではないかもしれないけども、なかなか変えたいと思っても変えられない PTA の組織もあるかもしれないので、そこは適時相談にのっていただければと思います。

北田教育長 西岡の答弁にもありましたが、合理化というか効率化ということで、出来るだけ負担を減らすような取組みも各単位 PTA の方もされており、教育委員会の方でもカーテンの洗濯とか、今は市の方で全部はいっぺんにはできませんが、ローテーションしながら支援できるところは支援させてもらっています。出来るだけ効率的に活動していただけるような、そういうサポート

をしたいと思います。

長谷川委員 2ページ3ページで、総合型地域スポーツクラブの設立に向けた件について質問等がありそれについてお答えいただいているんですが、総合型地域スポーツクラブとは交野におけるどういった団体、どういったクラブにされる方向性なのかということと、それについては課題が多々ありますとなっております。その課題について教えていただけたらと思います。

西岡部長 当該クラブの目的ですが、地域の身近なところでのスポーツ活動であったり、文化活動であったり、そういったことを広げていきましょう、どこかの場所に集まって、体育館に集まってどうこうではなくて、例えば地域の集会所でもスポーツであったり文化活動をやっていきましょう、それに対してこのクラブが指導者を派遣していく、地域の身近でそういった活動ができる取組みをやっていく仕組みといいますか、総合型地域スポーツクラブというのはそういうかたちになります。現在、総合型地域スポーツクラブそのものは組織化されていませんので、今現在は準備委員会の段階で、主としては体育団体や文化団体であったり、それ以外に一般市民の方でも熱意のある指導者であったり、そういう方に入ってもらっています。国の方では部活動の地域移行先の一つとして総合型クラブは言われております。ただ部活動を今後受け入れるとなったときに、当然人材、学校が求める部活動というところと、地域が支援できる指導者というニーズのマッチングにずれがあるというところと、コストの問題や責任問題に課題が大きいかと思います。準備委員会の中でスポーツ団体、文化団体もそういった意見が多いというところがありますので、今後、準備委員会の中で方向を進めていく中で、引き続き検討していかなければと思っております。

長谷川委員 準備委員会というのは、交野市の各校区まんべんなく人が入っ

ておられるかたちですか。

西岡部長

現在は、主力となるのはスポーツ団体と文化団体の2団体になるかと思っております。それぞれいろんなところで活動されております。一定は網羅されているのかと思うので、いずれ最終的に組織化になるときはそこの両団体が主力になると思います。それ以外に市民に広報などで募集をかけて指導員に文化・スポーツいろんなところに登録してもらって、例えば地域のニーズに応じて支援していく、民間企業でもそういった健康づくり、立候補制であれば支持していく、最終はそういうかたちになればと思っておりますが、様々な課題がありまして一気にはいかないと思います。

長谷川委員

保護者としては、外部の優れた方に指導を受けるというのはとても恵まれた機会がいいとは思いますが、その時に何かあったときの責任の所在はどこですかというのは気になる場所なので、学校と団体との連携も必要でしょうし、保護者との連携も必要だと思うので、なかなか難しいだろう、課題がたくさんあるだろうと単純に想像できるんですが、広く公募する可能性もあるとお聞きしましたので、これからの進捗状況をまた教えていただけたらと思います。

村橋教育長職務代理者

質問の中で「教育行政について」ということで、教職員の働き方改革についての質問事項が結構あります。特に交野市はいち早く、部活動にしても部活動支援員の配置などをやっております。校務支援システムの活用による業務負担の軽減ということでいろいろしてもらっていますが、諸帳簿のことあるいはテストの採点業務についてとか質問に対しての答えを言ってもらっていますが、具体的に今学校現場で特に校務支援システムの活用で、学校現場にはこういうかたちで負担軽減につながっているという内容を教えてください。

大隅課長 学校の中で校務支援システムを活用いたしまして、資料の共有を紙媒体を用いることなく円滑に進めるなどをしております。例えば職員会議であれば、これまで毎月の会議ごとに数十枚資料を数十人の教職員分仕分けをするなどをしておりましたが、格納フォルダに入れて事前に教職員が資料を見て理解をしたうえで職員会議に臨み時間短縮につながるというふうに進んでおりますし、資料の共有もこれまで紙ベースでそれぞれ印刷していましたが、データとして保存していつでもどこでも教職員が見られるというようなことも今進めております。

北田教育長 指導要録とか通知表の方には連動していないんですか。

大隅課長 今おっしゃられましたような、成績を付けたらそれが即通知表のかたちであったり要録のかたちにつながるということも校務支援システムの中では出来ますので、確かに年度末にこれまでまとめて処理していたものを、日常的に少しずつ進めながらというところはしやすくなっています。

村橋教育長職務代理者 今の話で、例えば文章表記する評価の科目がありますが、そういう内容にも対応しているということですか。

大隅課長 日常的に教員が記録を付けているものが通知表にそのまま連動するようなかたちになっていたり、少し見直しを行いまして通知表の表現をそのまま要録に載せるようなことも今進んでおりますので、学年末、年度末にこれまでしていた業務もかなりできています。

般谷委員 今の話はこれからのICT化に共通して、子どもたちの教育並びに教職員そういう部分の中でのことに対して、総合的におっしゃっているんですか。

大隅課長

教職員がこれまで職員室で事務的に行っていた部分についての軽減にもつながっていますし、当然事務についても、それぞれの教員が持ち寄ったデータを全員で共有するということにも繋がっていますので、よい事例を他の教員に普及するという点についてもメリットはございます。

般谷委員

今日少し教育長にもお話をさせていただいて、学校運営協議会、第一中学校区の運営協議会が最終的にはプラットフォーム化というか、教育委員会を含めて全部連携を図った上で文科省が推進をしています。その中で交野市も出来たら最先端を行ってほしいと思っています。教育事業の中で教育委員会自体がどのような立ち位置でその中に入っていくのか、話を聞いていくのか、それでいろんな当事者や PTA や、先ほどの PTA も非常に重要な情報伝達の一つのグループですので、いろんな面で細かいことまで私たちはそういうことを共有していくこと場所としてプラットフォームにいつなるのか。子どもたちというかこれからの親御さんたちも、求めているものは情報を開示していただきたいです。

ですから、この教育委員会自体の中でのこの話し合いも全部聞きたい、傍聴人がいらっしゃるようにみんなそのようないいような方向になってもらいたいと思っておられ、保護者の方々の本当の本心に入っていくようなことだと思います。PTA 活動をしている者たちやその他の学校教育事業に力を入れてくださっている人たちが、みんないろんな情報を共有することによって、より良い教育活動になっていくと思います。その部分を是非とも教育長にお願いして推進を図っていただきたいと思います。また課題として出して教育現場の人たちにもつながっていることだし、ICT 化もいいですが運営協議会というものがきちっと全部発足していく、各小中が連携を図っていけるようになっていければと思います。

北田教育長

先ほど伊丹委員からもあった PTA もそうですし、今おっしゃったように学校運営協議会のこともそうですが、それぞれ参加をして負担だと思ったらしんどいですし、ICT 化も含めて効率化していく中で。ただ学校に入っている校務支援システムと連動すると子どもの情報とかありますのでそれは別になりますが、多分今は各学校でマチコミメールもそうですが、昔は電話連絡網でやっていたところを、メールで学校も PTA もやっていますがそういう発信もあります。教育委員会もいろいろ今でも市教委ニュースで各学校でこんなことをしてます、というような発信もしております。おっしゃるように今学校なり運営協議会なりどんなことをやっているかということを知ってもらうというのが一番の必要なところだと思いますし、やっている方も発信があればやりがいといいますか、自分のやっていることが市民の方や地域の方に分かってもらえると思えば少ししんどいかもかもしれませんが、でも頑張ろうという気持ちにもなります。

般谷委員

努力して一生懸命協議して会議してやっていることが、情報が流れないことによって後々になったらみんなの責任になっているとか、ましてや教育委員会に関する問題が起こっているじゃないですか。いろいろマスコミにも叩かれいろんな状況で子どもがいじめられてそして亡くなった、親の問題で誰かが亡くなってしまふという命にかかわるようなこと、それを事前に考えていくこともプラットホーム化というのは面白いことになるのではないかと思います。

情報の開示、見える化というのをよろしくお願いします。

北田教育長

それは普段からでもやっていることですので、出来るだけいろんなことを発信しながら、皆さんに理解をしてもらいながら進めたいです。

他にいかがでしょう。

各委員

質疑なし

北田教育長

質疑なしと認めます。ではこれで報告事項1の「令和5年第3回議会(定例会)一般質問及び答弁の要旨について」を終わります。

次に、報告事項2の「新型コロナウイルス感染症に関する状況について」を議題といたします。

新型コロナウイルスにつきまして、5月8日以降は5類に移行しましたが、そうとは言え委員の皆さんも現状はどうかと心配されているかと思しますので、担当課より状況を説明するものです。

所管課から説明をお願いします。

坂元課長

市内、小・中学校の新型コロナウイルスの状況について、ご報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症ですが、5月8日以降5類に移行後、市内小・中学校からは、週に1人、2人の感染症の報告がありました。大きな広がりはありませんでした。

ただ、一つの中学校で修学旅行に行っている最中に、生徒が体調不良で病院を受診し、新型コロナウイルスに罹患している事が判明しました。その後、生徒・教職員15名が罹患し、検査中その他体調不良で欠席者がいるため、欠席者数としては学年閉鎖の基準ではありませんでしたが、学校医と相談した結果、修学旅行で学級を超えて交流しているため、学年閉鎖をした方がよいとの所見があり、6月22日(木)午後から6月25日(日)まで学年閉鎖を行いました。今朝学校に状況を確認したところ罹患者が増えている状況で現在学級閉鎖等を検討しているとのことです。

以上、報告とさせていただきます。

北田教育長

5月8日以降でも、週にどの学校でも1人か2人の罹患者はいるんですが、修学旅行という行事があって集団活動が多かった

ので中学校で学年閉鎖をしていました。ただ学年閉鎖そのものは今週は解除になっていますが、学級によってはまだ罹患者が多い学級があるので学級閉鎖の方を検討しているという報告でした。

今の説明についてご質問はありませんか。

亥埜委員 学年閉鎖や学級閉鎖の期間は、タブレットで連絡の取り合いとか休んでいる生徒と通信はされていますか。完全に休みにされているんですか。

大隅課長 これまでから学級閉鎖等を実施している際に、子どもたちの体調次第ではありますが、一定体調の管理であったり課題のやり取りなどは各学校でやっております。

北田教育長 今回は修学旅行ということで中学校 3 年生で学年末テストのちょうど前でしたので、授業というよりはどちらかと言えば、課題とかテスト勉強とか、そういうかたちで子どもたちは各自体調のいい生徒は家庭で学習したのではないかと思います。

亥埜委員 ありがとうございます。

北田教育長 他にいかがでしょう。

各委員 質疑なし

北田教育長 質疑なしと認めます。

ではこれで報告事項2「新型コロナウイルス感染症に関する状況について」を終わります。

以上をもちまして令和5年第8回教育委員会定例会の案件全てが終了いたしました。

引き続き、協議会の進行をよろしく申し上げます。

交野市教育委員会会議規則第20条の規定により署名する。

交野市教育委員会

教育長 _____

委員 _____